

衣笠祥雄氏等による伝道事業（平成23年11月13日）



駐大阪・神戸アメリカ総領事館との共催で衣笠祥雄氏、元大リーガーのカル・リプケン・ジュニア氏等による野球教室を開催しました。

衣笠氏とリプケン氏は日米のプロ野球連続試合出場記録を競い合った「盟友」であり、久しぶりに顔を合わせたお二人は、阿吽の呼吸で子どもたちに楽しく野球を教えておられました。

衣笠氏は、「守備の秘訣はあせらないこと、落ち着いたプレーが大切。」、リプケン氏は「相手を取りやすい球を投げること、仲間のことを考えてプレーしてほしい。」と自ら見本を見せながら丁寧に教えておられました。

また、野球教室終了後は、室内練習場において門川市長を交えた対談を行いました。子どもたちからの質問時間では、「野球をやっていてよかったことは？」との質問に衣笠氏は「たくさんの人と出会う機会を野球がくれた。」と答えられ、またリプケン氏は、「連続試合出場記録を打ち立てられた秘訣は？」との質問に、「強い体と精神力、それに何よりも野球を愛していること。」と力強く話されていました。

大記録を打ち立てた2人に直接野球の指導を受けただけでなく、リプケン氏から野球グッズのプレゼントもあり、参加した子どもたちは大変満足していました。